

令和8年度 第1回 味生小学校 学校運営協議会 議事録

令和8年5月29日(金) 18:30~20:30

場所: 摂津市立味生小学校 会議室

本年度第1回の学校運営協議会を開催いたしました。この協議会は、学校と地域が「同じ方向を向いて子供たちの成長を支えていく」ためのパートナーシップを築く場です。当日の主な協議内容をご報告いたします。

1. 学校運営のビジョン: みんなが「幸せ」を感じられる学校へ(校長より)

- ・学校教育目標: 「あたたかい心とことばのあふれる学校」
- ・研究テーマ: 「自分も他者も大切にする児童・保護者・教職員 ～月曜日が楽しみな学校～」
- ・ウェルビーイングの追求: 子供たちはもちろん、教職員、保護者、地域の皆様全員が、味生小学校に関わることに喜びを感じられる状態(ウェルビーイング)を目指します。
- ・対話を通じた研究: 4つの研究チーム(「居場所・土台」、「授業・学び」、「表現・内省」、「環境・支援」)を立ち上げ、教員自身も対話を深めながら、より良い教育環境を模索しています。

2. 具体的な「地域との連携」: 学校を支える力強いパートナーとして

会議では、現在の学校が抱える課題(深刻な教職員不足など)を共有し、地域がどのように学校をバックアップできるかについて熱心な議論が行われました。

- ・「共に動く」実行組織へ: 会議を単なる報告の場にするのではなく、学校の困りごとに対して地域が具体的に何ができるかを考え、共に行動していく姿勢を確認しました。
- ・日中の学習サポート: 先生の負担を軽減し、子どもたちの学びをより豊かにするため、多人数学級の見守りや調理実習の補助、読み聞かせなど、地域の皆様が日常的に学校運営に参画する仕組みを検討していきます。
- ・地域人材の活用: 地域の専門知識を持つ方によるキャリア教育など、子供たちが多様な大人と触れ合える機会を増やしていきます。

3. 子どもの主体性を尊重する

子どもたちが「自分たちの力で学校を良くしていける」と実感できる機会も大切にしています。その一例として、子どもからの「黒板を使いやすくしてほしい」という相談をきっかけに、設備の改修が実現したエピソードが紹介されました。こうした主体的な発信を、地域とともに温かく見守っていきます。

4. 安全・安心な環境づくり(熱中症対策等)

近年の異常な猛暑による水泳授業のあり方についても協議しました。施設の老朽化や予算、気象条件など厳しい現実がありますが、「子どもたちの命を守る」ことを最優先に、限られた条件の中でどのような対策や判断が可能か、今後も知恵を出し合っていきます。

5. 情報発信のアップデート: 公式 note で「今」を伝える

子どもたちのいきいきとした様子をリアルタイムにお伝えするため、ブログ形式のホームページ「note」の運用を強化しています。授業や休み時間の様子をぜひご覧ください。

味生小学校は、地域の皆様の温かい支えによって歩んでいます。教職員不足という厳しい状況の中ではありますが、だからこそ地域と学校がしっかりと繋がり、子どもたちの笑顔を守っていきたくと考えています。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。